

地質サイトカード

カードNo.	A-③-4	通しNo.	27	作成日	2025/3/10
サイト名	火山岩の瀬崎海岸 ^{せざき}				
基本情報	エリア	島根半島 探検サイト			
	区分	☒ 地質・地形	☐ 生態	☒ 文化	
	利用価値	☒ 科学	☒ 教育	☐ 観光・ツアー	
	所在地	松江市島根町瀬崎			
	アクセス	松江だんだん道路川津ICから約20km、約25分で瀬崎港。港北側から磯に出て、干潮で波がなければ歩いて北方向へ約400m。			
	周辺施設	☐ トイレ ☐ 売店 ☐ 飲食店 ☐ 駐車場(台) ☐ ウォーキングコース ☐ サイクリングコース ☐ 観光施設()			
	看板整備				
	留意点				
保護・保全	法規制・関連団体等	大山隠岐国立公園			
	保全メモ				
サイトの解説	みどころ	火山角礫岩層にみられる崩落火道と海岸侵食でできたヒョウタン池とドンド穴			
	地質・地形	瀬崎集落の北に広がる一帯は、かつて活発な水底火山活動が起こった場所であり、火口から噴出した安山岩ないし玄武岩質の溶岩が水冷破碎された火山角礫岩（ハイアロクラスタイトとも呼ばれる）とそれを貫く岩脈群よりなる。その中には、火道を通して貫入したマグマが地中で固化した後、崩れ落ちた珍しい現象（崩落火道）がみられる。崩れ落ちた岩塊は大きな角礫と小さな角礫よりなる部分に分かれており、崩落のなかで分級が起こったものとみられる。角礫の間隙はメノウで充填されていることから熱水活動の影響を受けた様子もうかがわれる。また、海岸侵食によって形成された波食棚には地元の人が「ヒョウタン池」とよんでいる、島根半島では最大の海食甕穴（ポットホール）がある。大きさは、最大長3m、最大水深2.2mであるが、波によって流れ込んだ海水が30cm程度の円礫を回転させており、底面は現在でも掘り下げられている。瀬崎の集落からの北へ600mほど行った山中には、波が洞窟の壁にぶつかって大きな音を立てる直径25mの縦穴洞窟の「ドンド穴」がある。			
	歴史・文化 生物・生態 等	『出雲国風土記』では、瀬崎の戌として記載されている。海からの侵略を監視、防衛する役目を果たしていたとされる。			
写真・図等	 				
参考文献					